

表面処理技術から未来を創造する

第59期・2019年3月期

決算説明会

株式会社 JCU

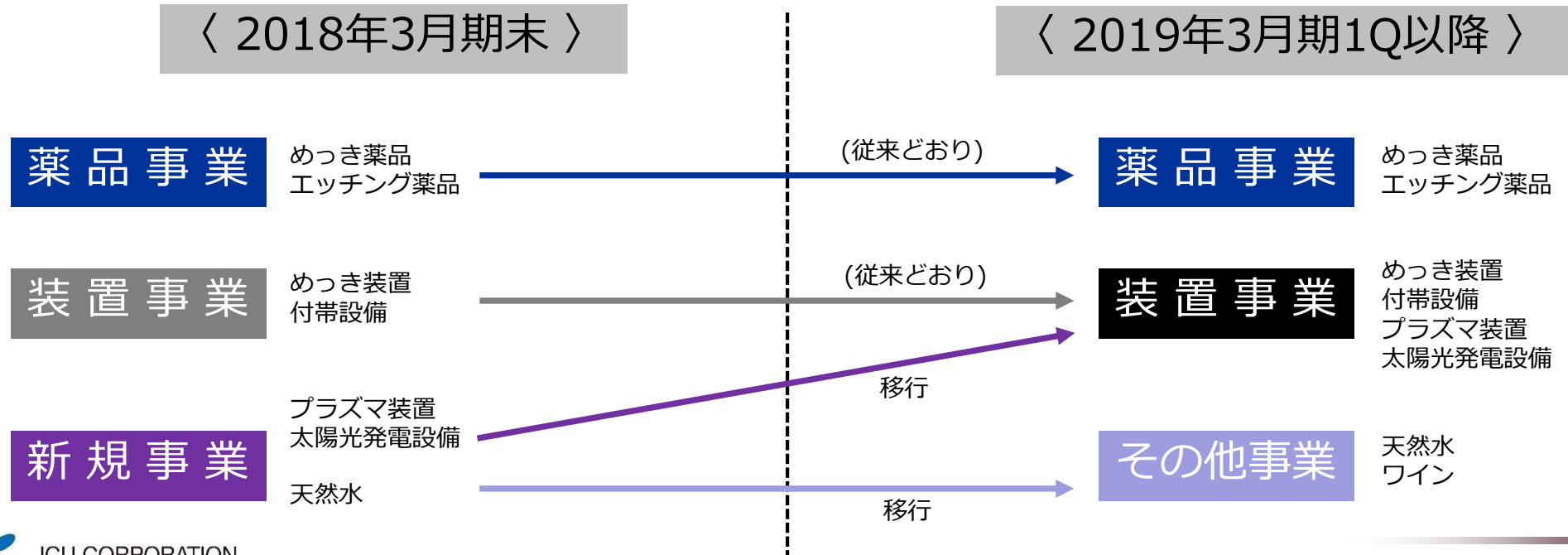
東証 1 部 4975

2019年5月22日（水）



セグメント変更のお知らせ

2019年3月期1Qより、会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「薬品事業」「装置事業」「新規事業」の3事業から、「薬品事業」「装置事業」の2事業とし、報告セグメントに含まれない「その他」を追加いたしました。従来「新規事業」に含めておりました、プラズマ装置、太陽光発電設備等を「装置事業」、スパッタ技術によるカラーリング加工、飲料水及びワイン等の事業を「その他」に含めております。なお、前年同期1Q(2018年3月期1Q)以降のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。



当社決算の概況

〈会計期間〉
JCU(単体) → 4月 - 翌3月
海外子会社 → 1月 - 12月

《電子部品分野向け》

スマートフォンの販売台数が低迷したことで、台数成長に伴う薬品の需要に一服感があり、特にハイエンドスマートフォン向けの需要が軟調に推移。中国系スマートフォンにおいても、買い替え需要および高機能化による薬品の需要が鈍化。その他の電子機器向けの販売は堅調であったものの、薬品販売は緩やかに推移。売上高は前年同期比で微増となった。

《自動車分野向け》

国内の薬品販売は横ばいで推移。海外は、中国において拡販による顧客獲得を背景に、自動車部品用めっき薬品販売が堅調に推移したことから、薬品売上高は前年同期を上回った。
その他、装置は前期に受注を獲得した大型めっき装置の工事が順調に推移したことで、装置売上高が前年同期を大幅に上回った。

2019年3月期 業績概況

【連結】

(単位：百万円)

決算期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期		
	実績	実績	修正予想 (2019/2/4)	実績	対前期増減率
売上高	20,760	23,120	25,000	24,866	7.6 %
営業利益	5,500	6,948	6,950	7,072	1.8 %
経常利益	5,502	6,972	7,000	7,192	3.2 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,124	4,906	4,700	4,963	1.2 %
1株当たり 当期純利益	147円55銭	176円31銭	168円83銭	178円55銭	—

(注) 2017年4月1日付および2018年4月1日付で、いずれも普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

貸借対照表 要約

※ 一部の勘定科目について省略しております。
 ※ 税効果会計に係る会計基準の一部改正に伴い、2018年3月末時点の貸借対照表も組み替えて表示しております。

(百万円)	2018年3月期	2019年3月期
流動資産	24,139	24,103
現金及び預金	13,528	14,785
受取手形及び売掛金	7,437	6,920
たな卸資産	2,019	1,822
固定資産	8,019	8,071
有形固定資産	4,191	4,461
投資その他の資産	3,849	3,565
資産合計	32,230	32,174
流動負債	6,977	4,934
支払手形及び買掛金(電子記録債務含む)	3,315	1,974
短期借入金(一年内長期含む)	608	505
固定負債	2,256	2,756
長期借入金	647	707
負債合計	9,234	7,691
純資産合計	22,996	24,483
負債・純資産合計	32,230	32,174

2020年3月期業績予想

(単位：百万円)

決算期	2019年3月期	2020年3月期 (予想)	前期に 対する増減率
売上高	24,866	25,000	0.5 %
営業利益	7,072	7,200	1.8 %
経常利益	7,192	7,300	1.5 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,963	5,000	0.7 %
1株当たり 当期純利益	178円55銭	184円99銭	—

配当予想

		2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
1株当たり配当金	中間	17.5円	22.5円	23.5円 (1円増配)
	期末	25円 (内：記念配当 2.5円)	22.5円	23.5円 (1円増配)
	年間	42.5円 (内：記念配当 2.5円)	45円	47円 (2円増配)

(注) 2018年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金を算定しております。

当社は、持続的な成長を達成するため手元流動性を確保し、安定した財務基盤を維持しつつ、成長投資を継続してまいります。配当は、安定増配基調継続を目指し、配当性向25%目安とすることを基本方針としております。

為替レート

(単位：円)

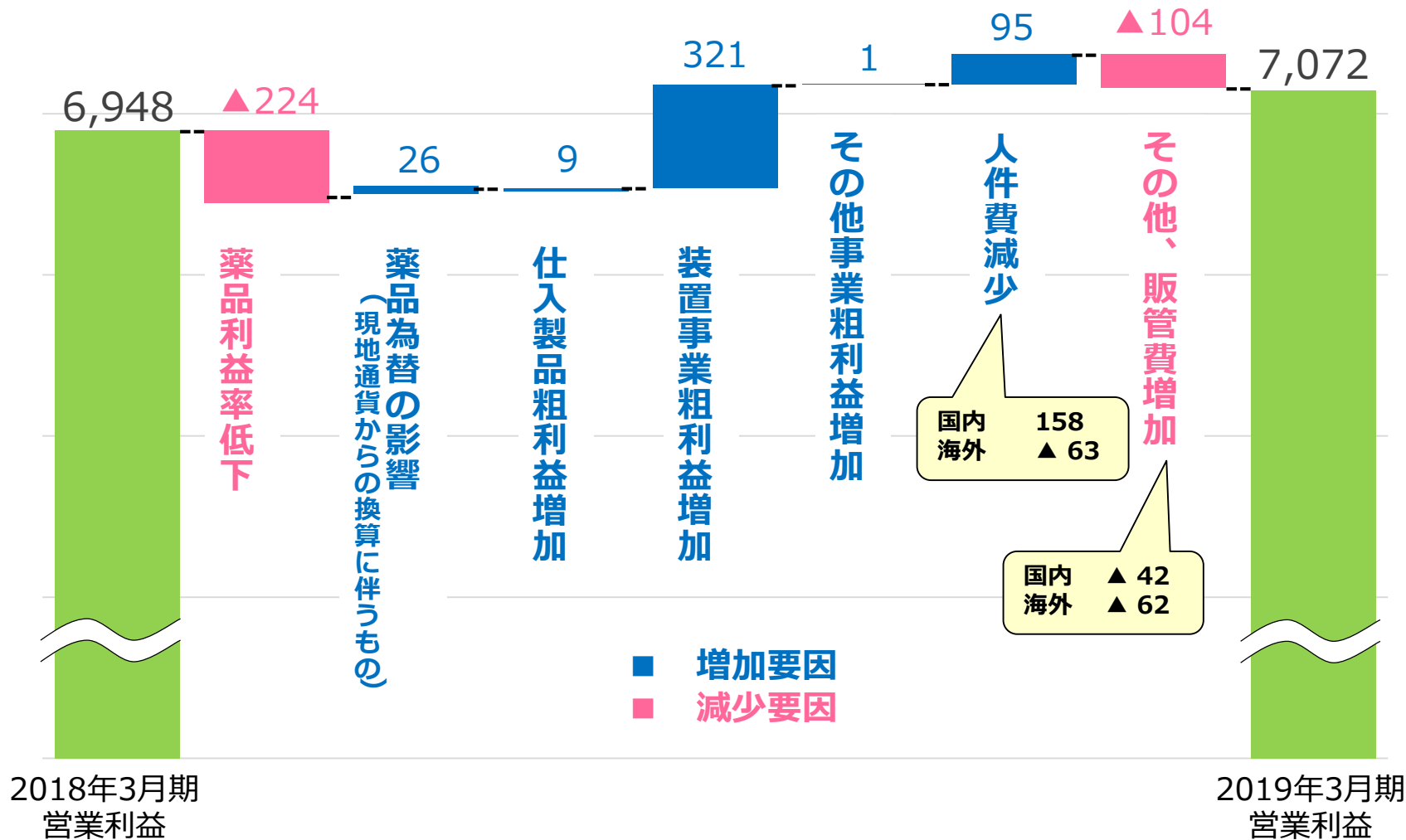
	2018年3月期				2019年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	予算	1Q	2Q	3Q	4Q
中国人民元 (C N Y)	16.57	16.39	16.47	16.62	17.05	17.05	17.09	16.85	16.72
台湾ドル (T W D)	3.66	3.67	3.67	3.69	3.70	3.70	3.68	3.67	3.67
韓国ウォン (K R W)	0.0986	0.0985	0.0984	0.0993	0.1010	0.1010	0.1011	0.1005	0.1004

(注) 当社の主要な外国通貨は、中国人民元・台湾ドル・韓国ウォンであり、いずれも、期中平均レートを採用しております。

2019年3月期 連結営業利益 増減内容

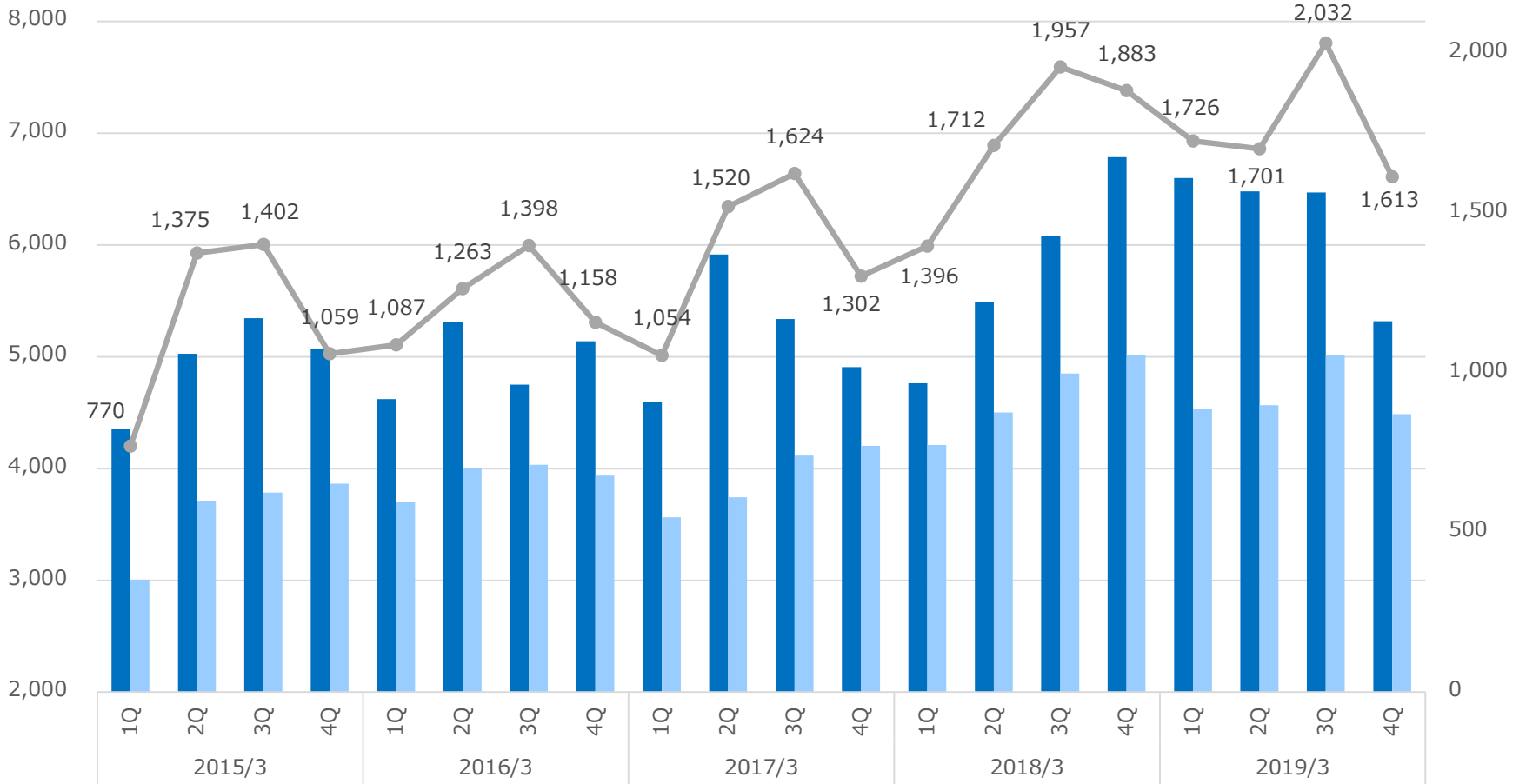
(単位：百万円)

(前期比)
+ 124



四半期別 連結業績の推移

売上高 (百万円)



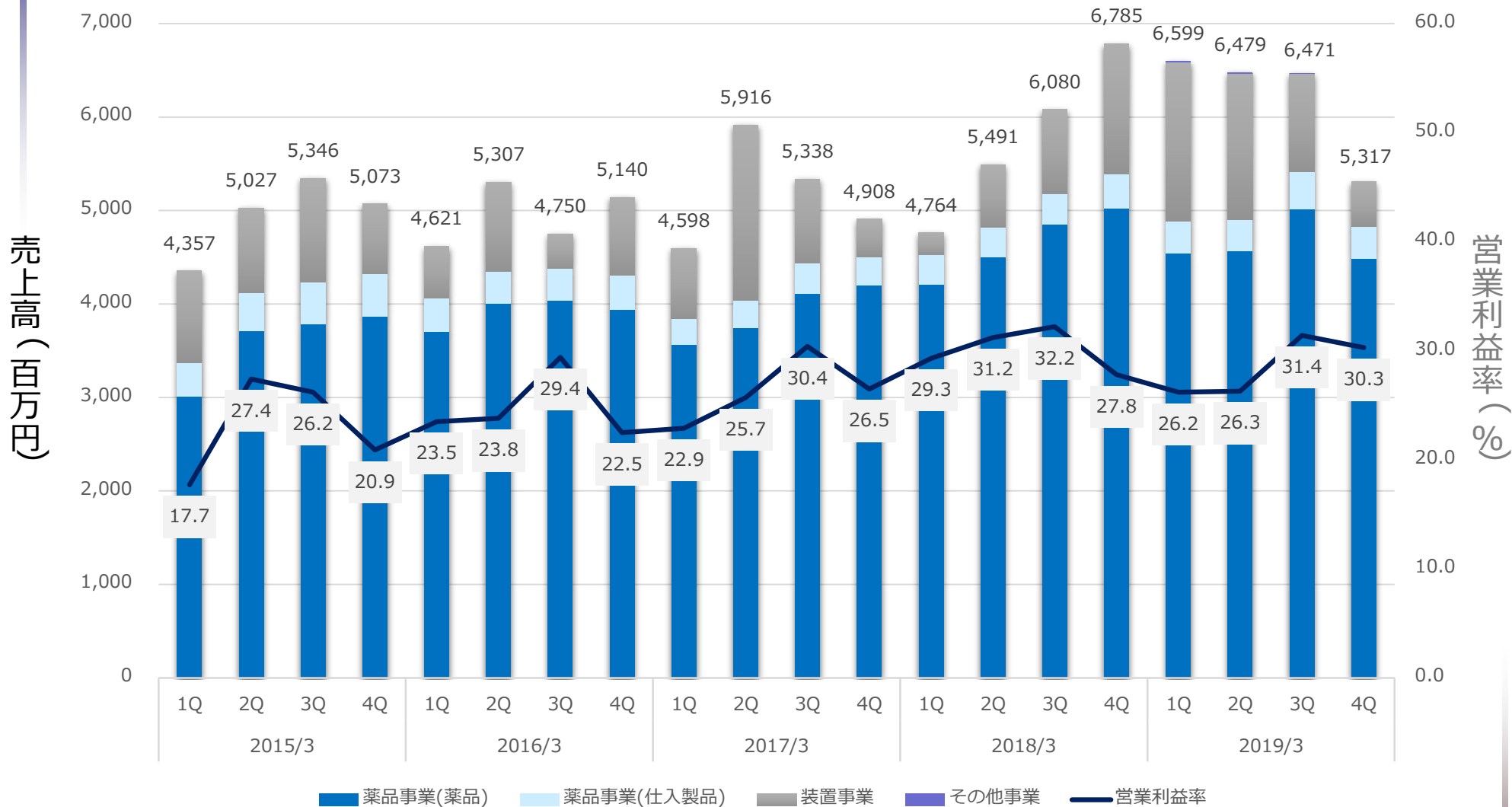
営業利益 (百万円)

■ 総売上高

■ 薬品売上高

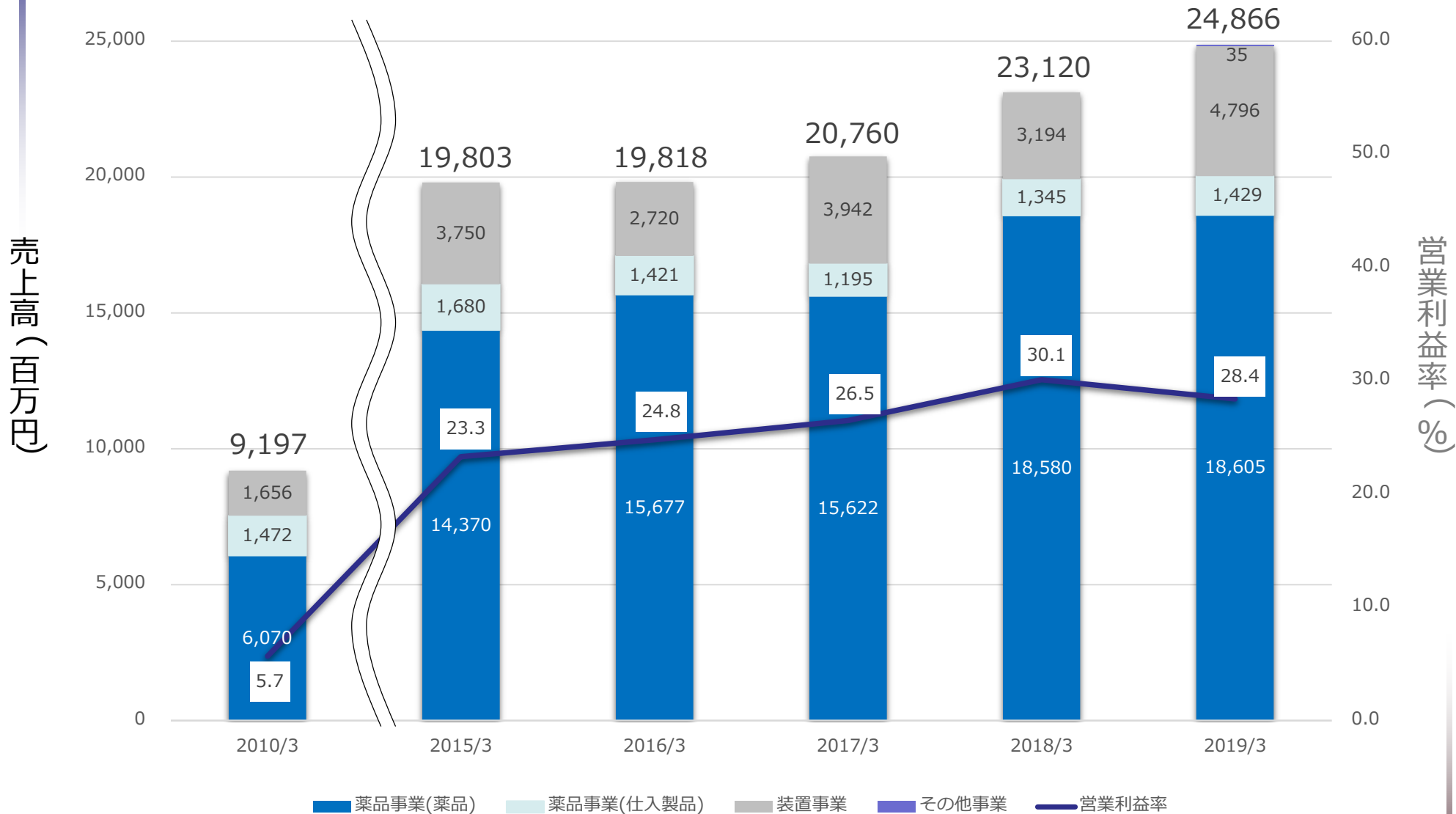
● 営業利益

四半期別 連結業績の推移



(注) セグメント変更に伴い、2018年3月期4Q以前の旧新規事業は、便宜上、全て装置事業に合算して表示しております。

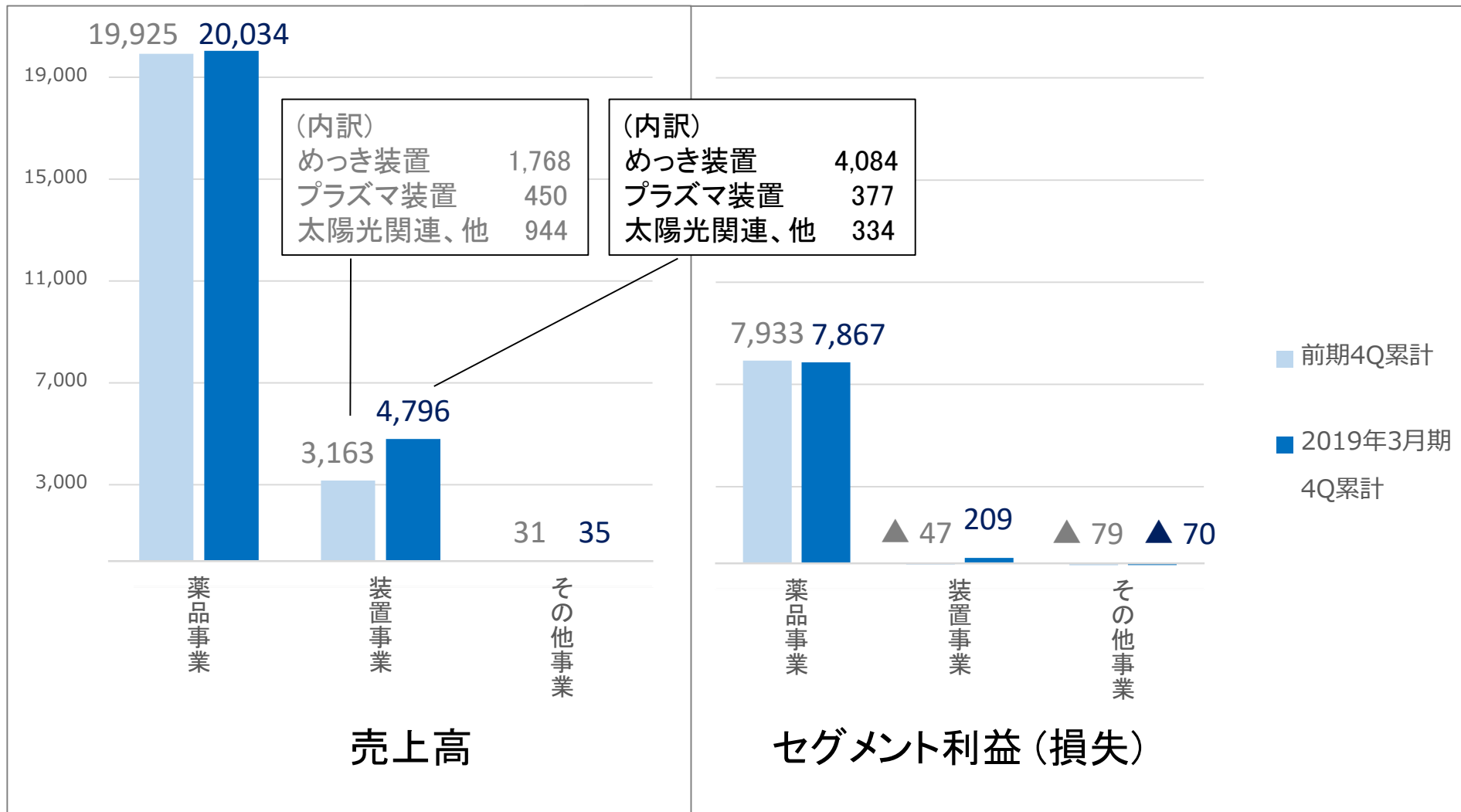
年度別 連結業績の推移



(注) セグメント変更に伴い、2018年3月期4Q以前の旧新規事業は、便宜上、全て装置事業に合算して表示しております。

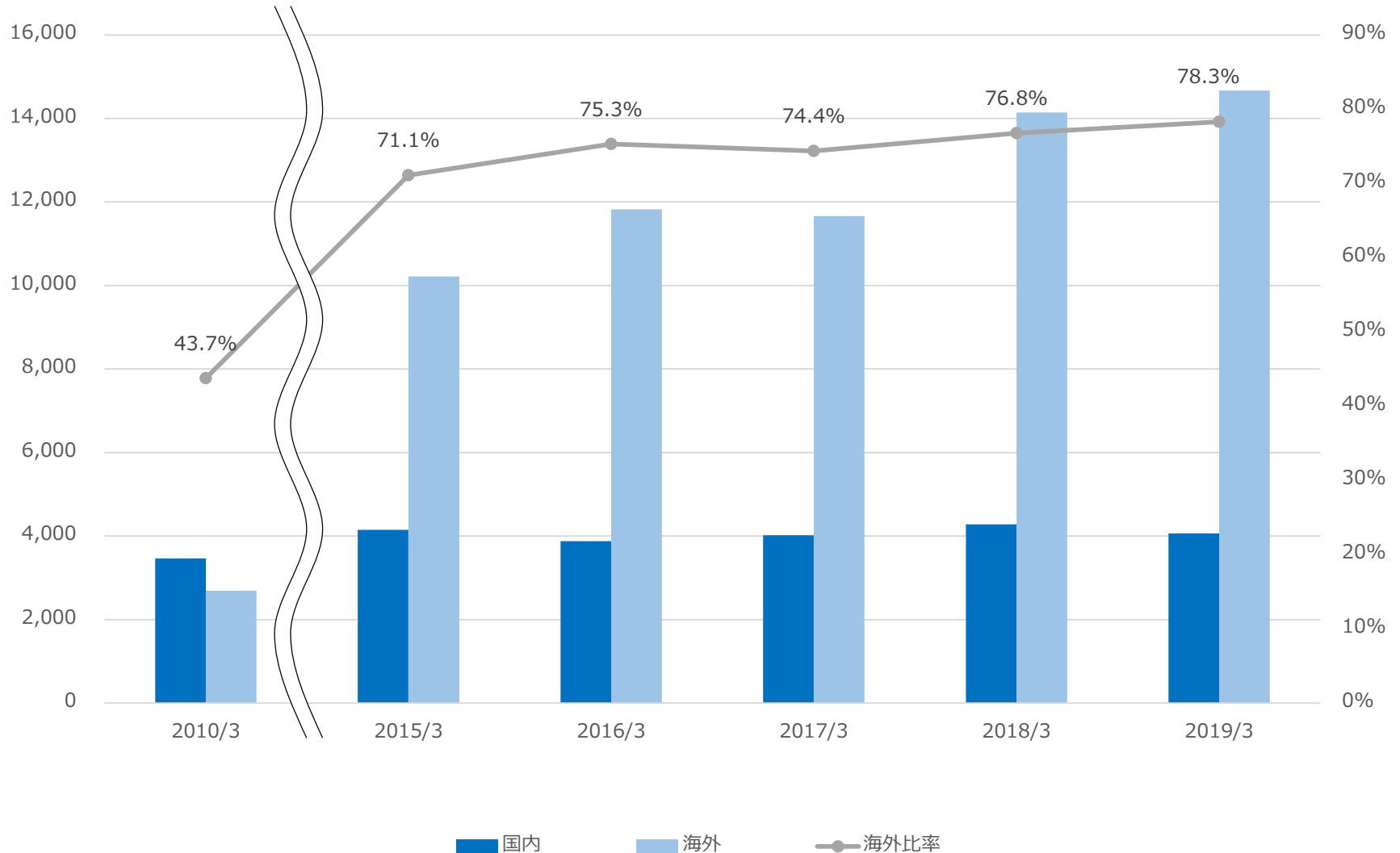
2019年3月期 連結セグメント業績

(単位:百万円)



四半期別 国内外薬品売上高推移

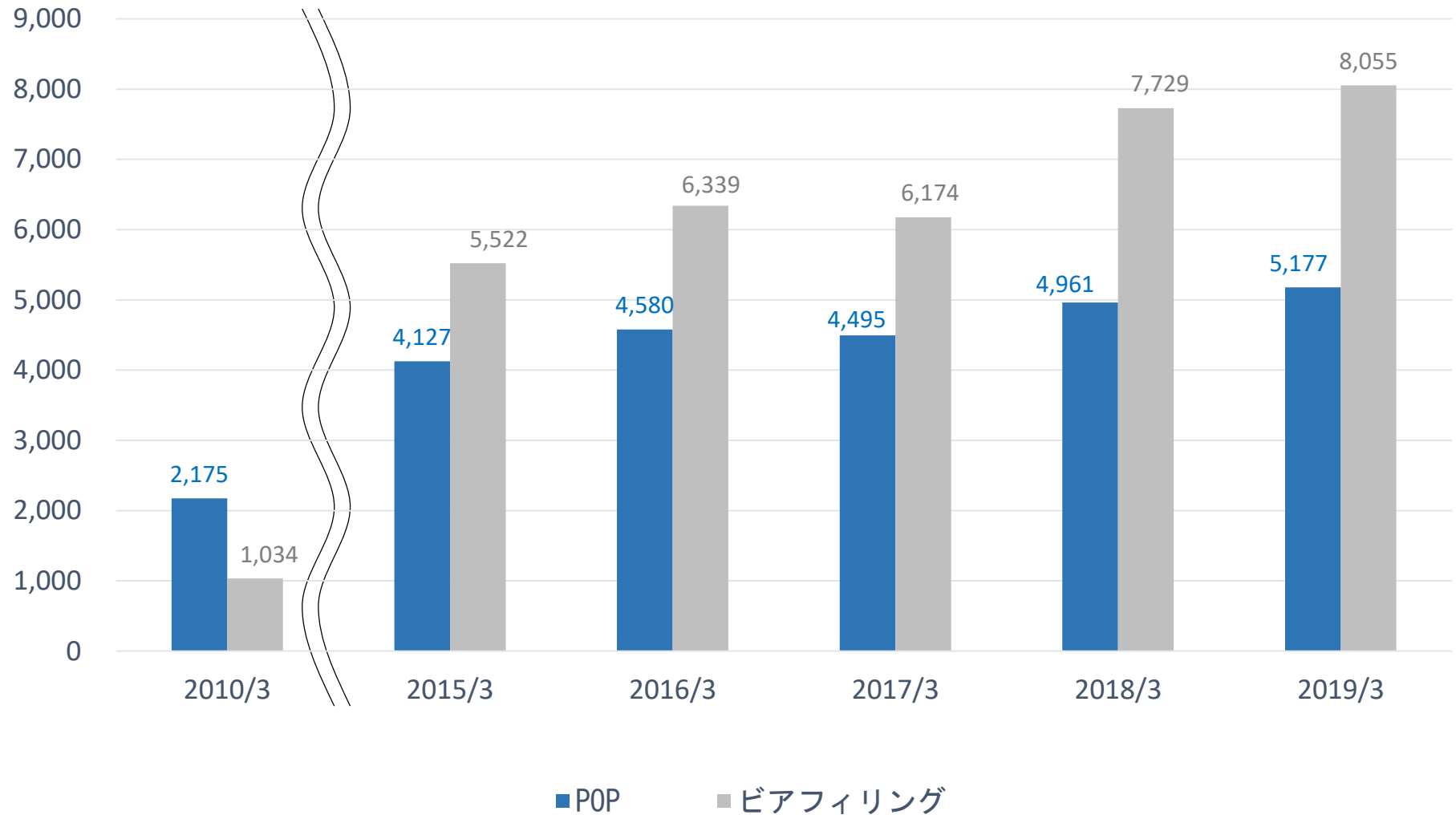
(単位：百万円)



年度別 POP、ビアフィリング用薬品の売上高推移

(単位：百万円)

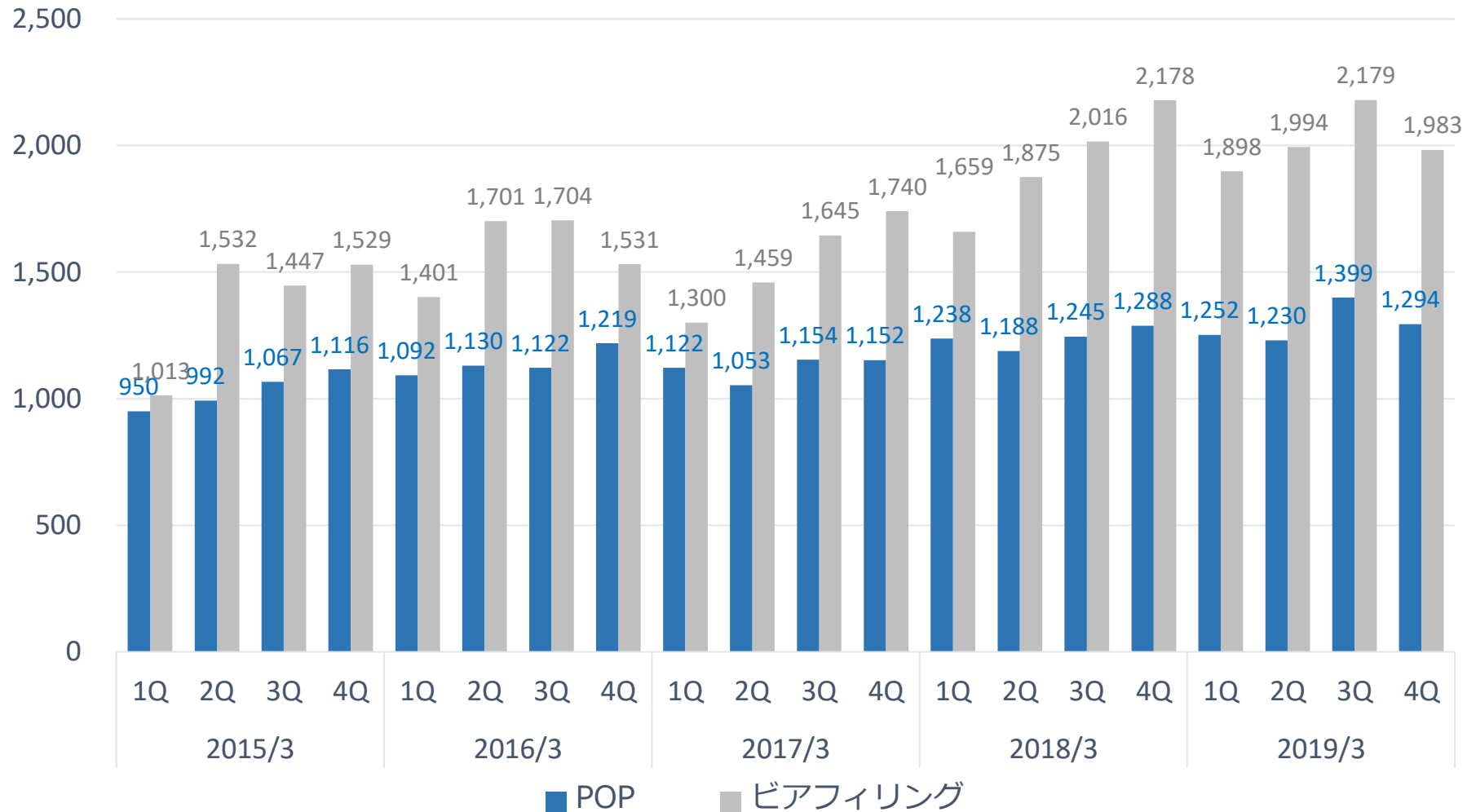
POP (Plating on Plastics) … プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け
ビアフィリング…プリント配線板向け銅めっき添加剤、主にスマートフォン、PC等



四半期別 POP、ビアフィリング用薬品の売上高推移

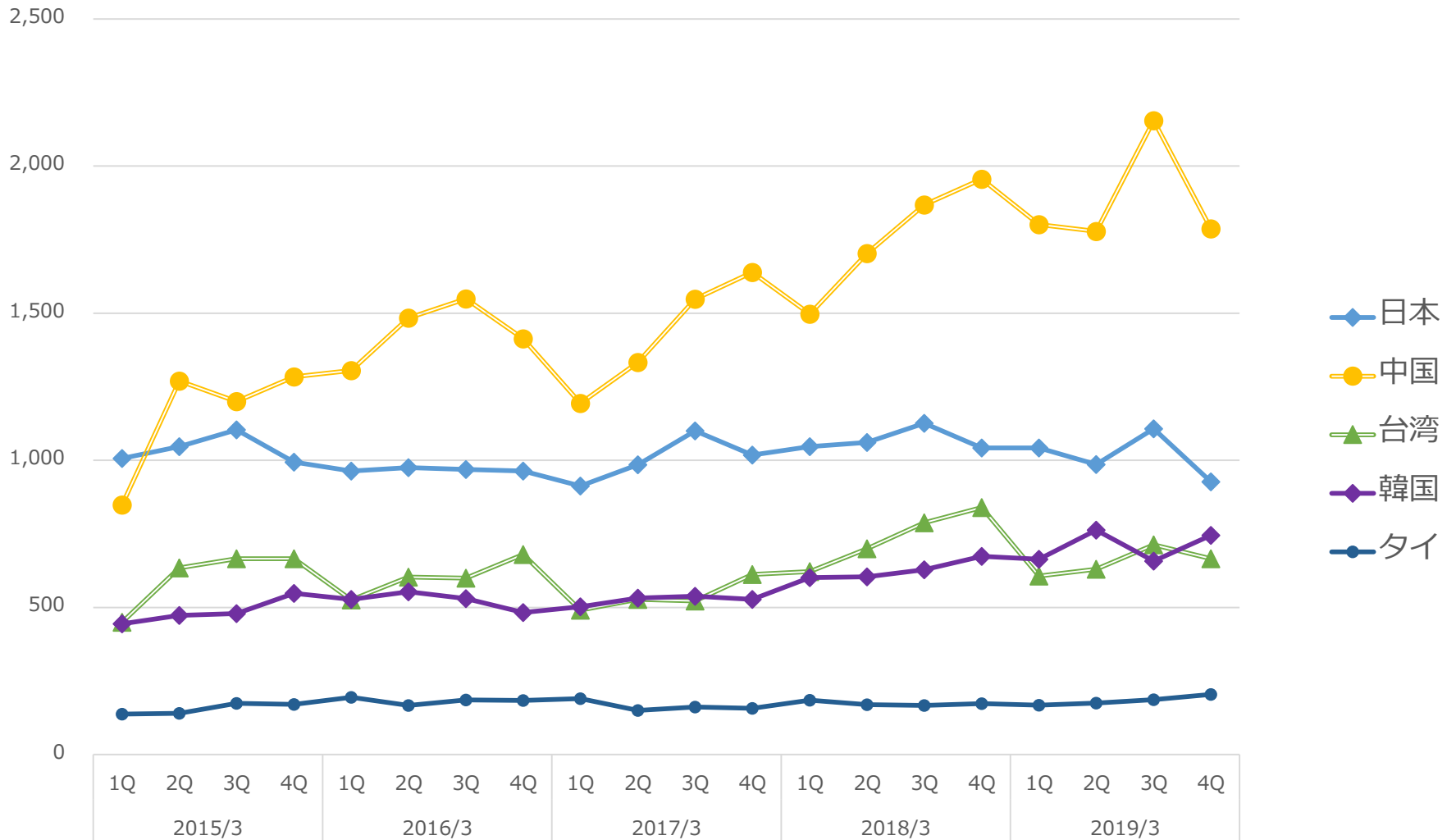
(単位：百万円)

POP (Plating on Plastics) … プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け
 ビアフィリング … プリント配線板向け銅めっき添加剤、主にスマートフォン、PC等



四半期別 地域別薬品売上高の推移

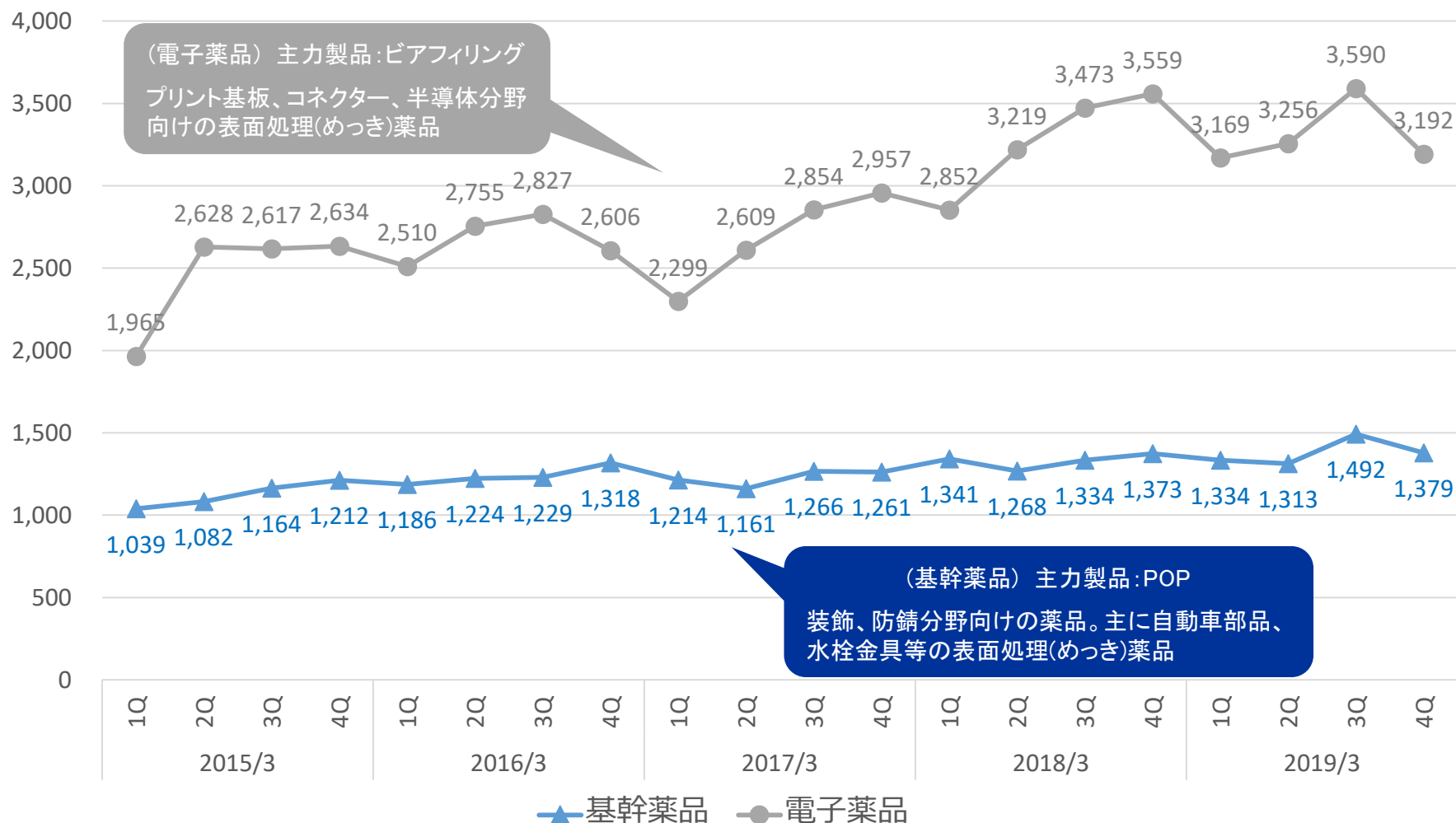
(単位：百万円)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

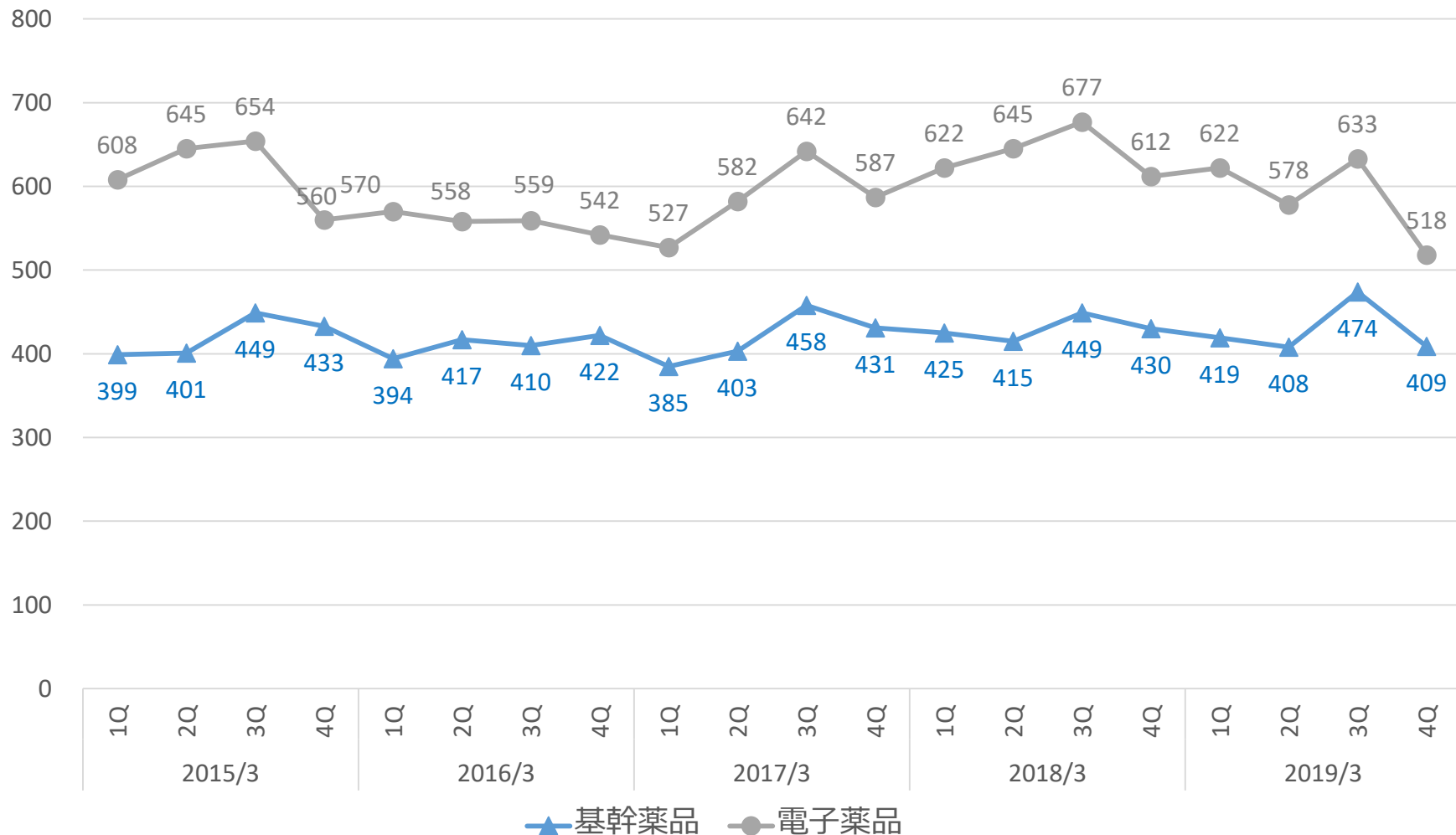
連結



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

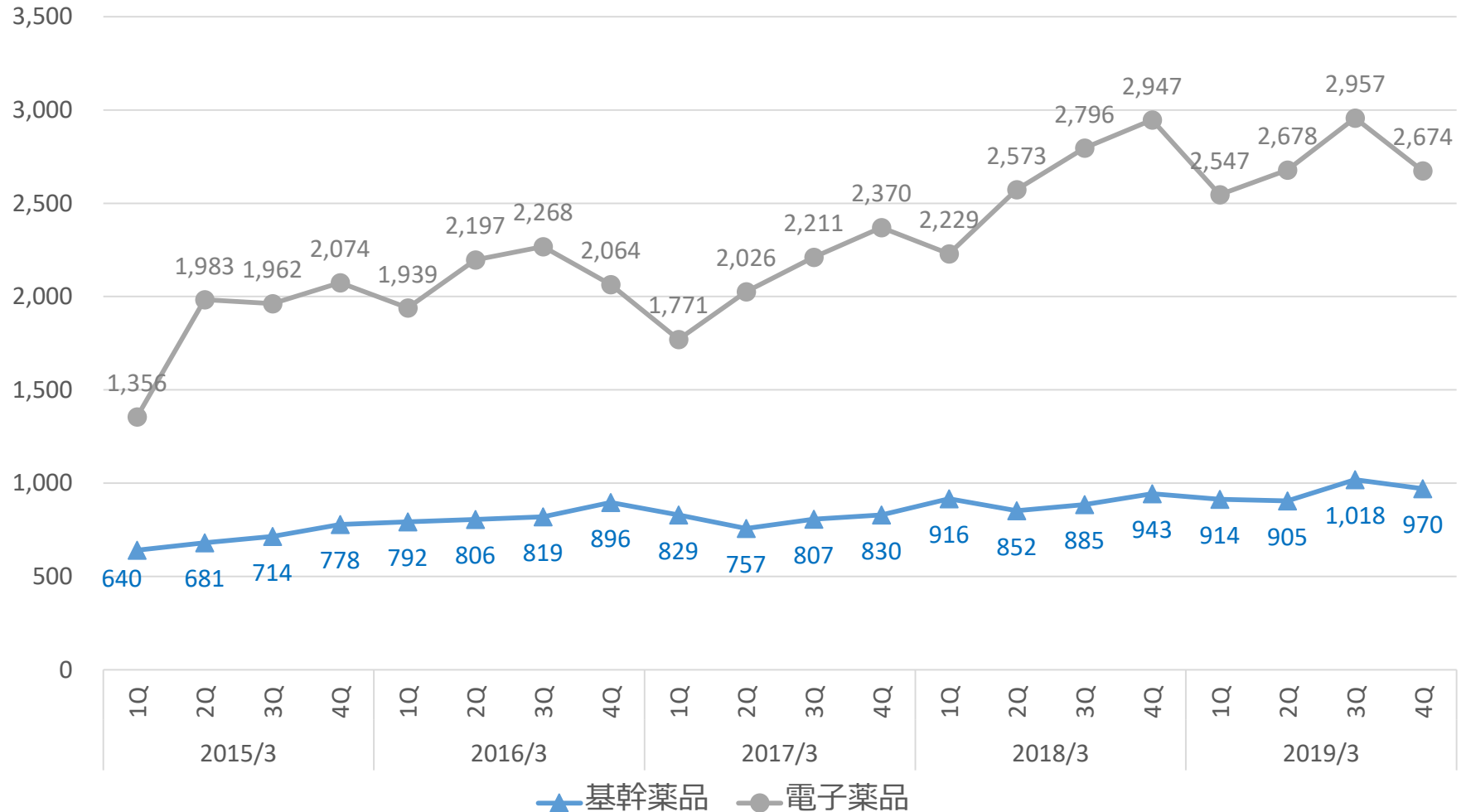
国内



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

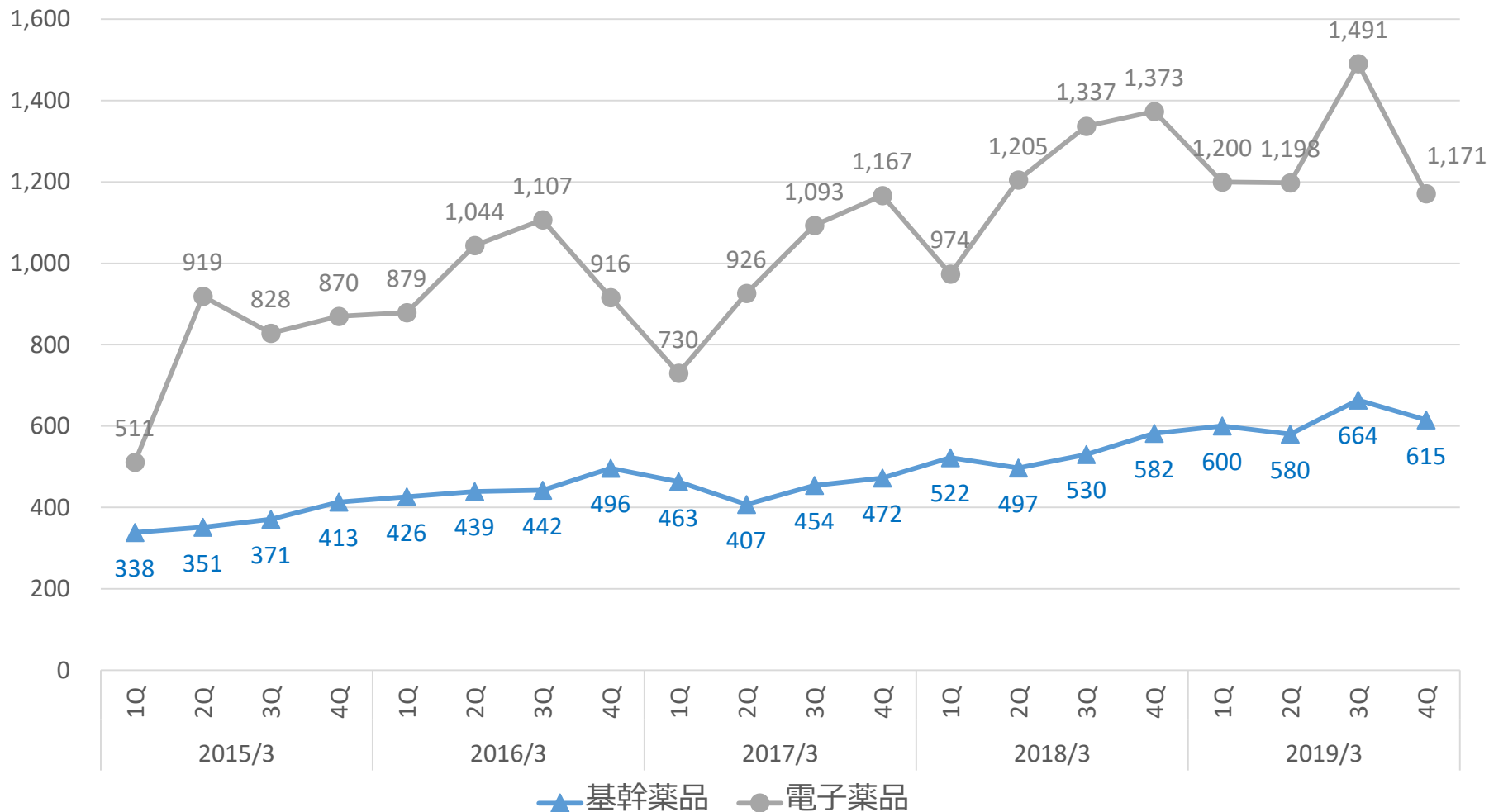
海外 (合計)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

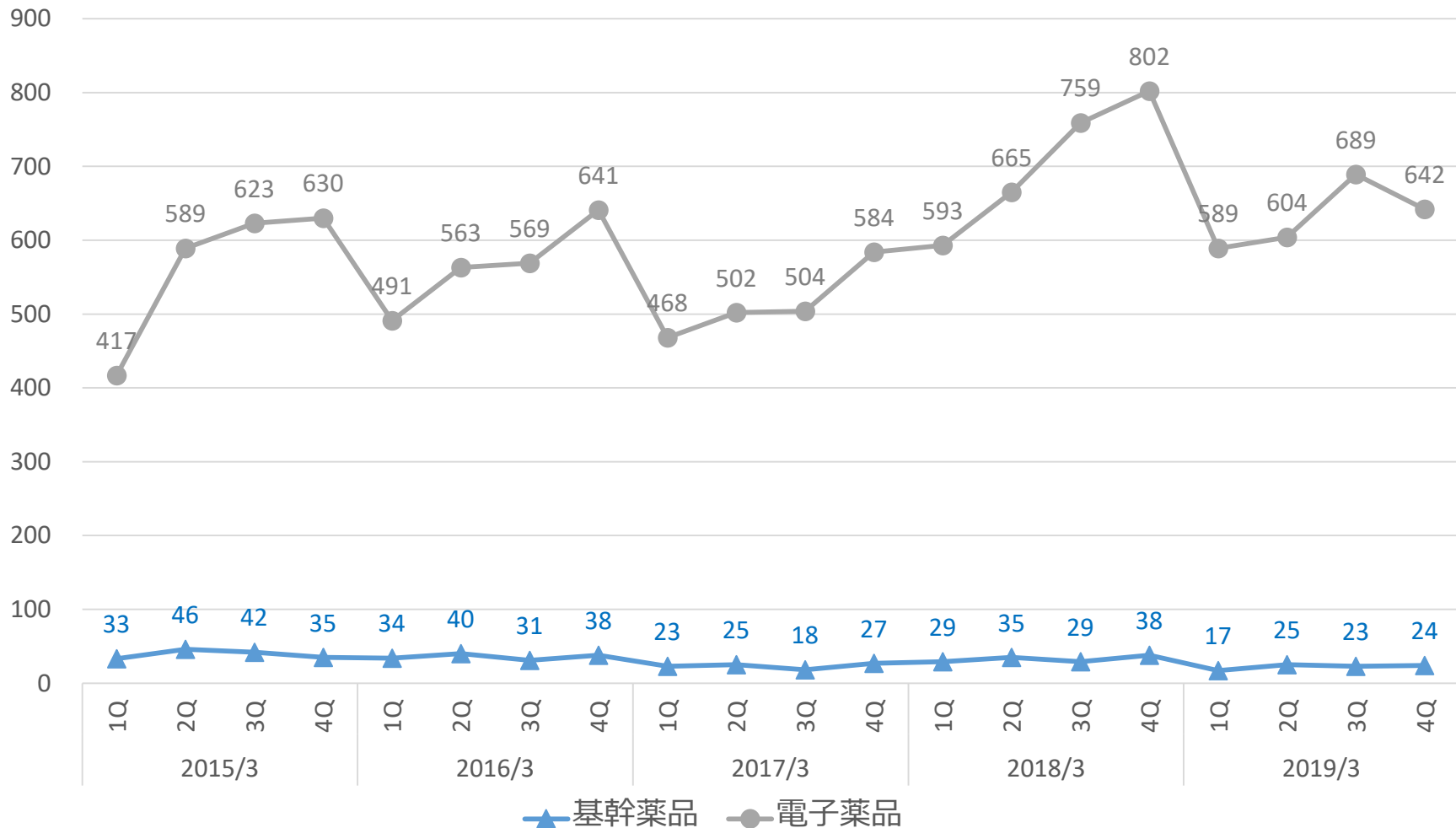
中国



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

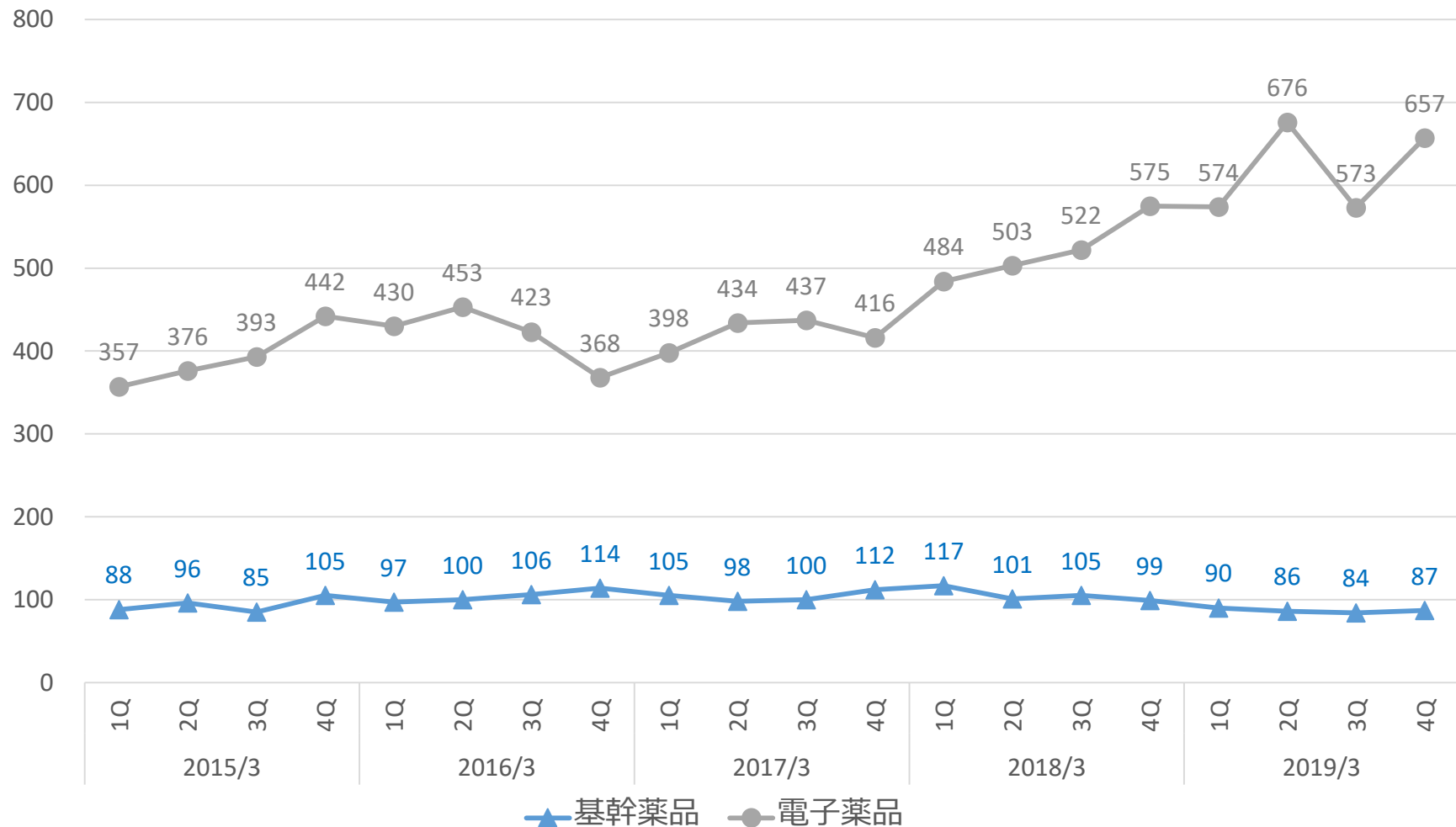
台湾



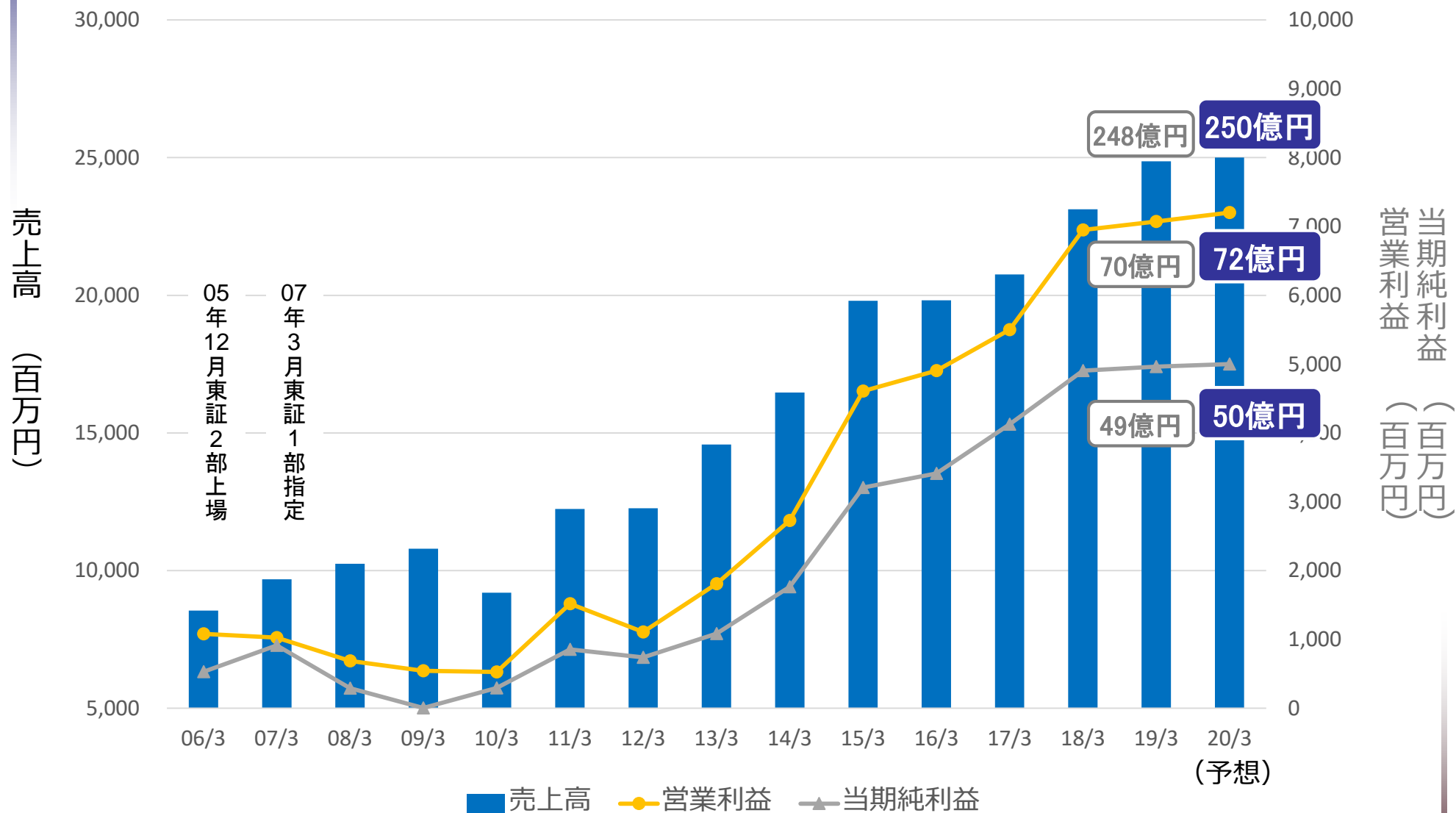
四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

韓国

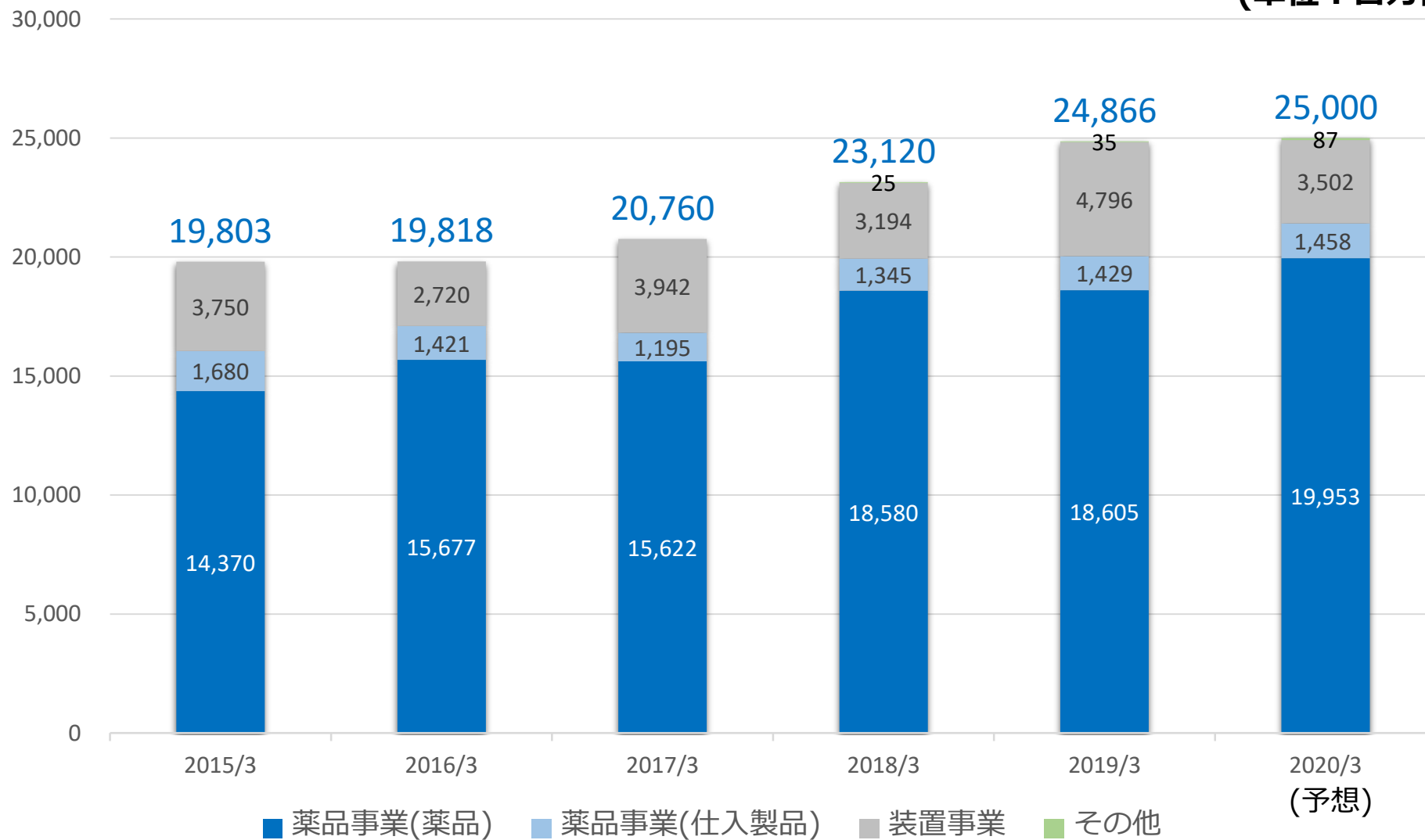


上場からの業績推移 (予想)



年度別製品構成別売上高推移 (予想)

(単位：百万円)

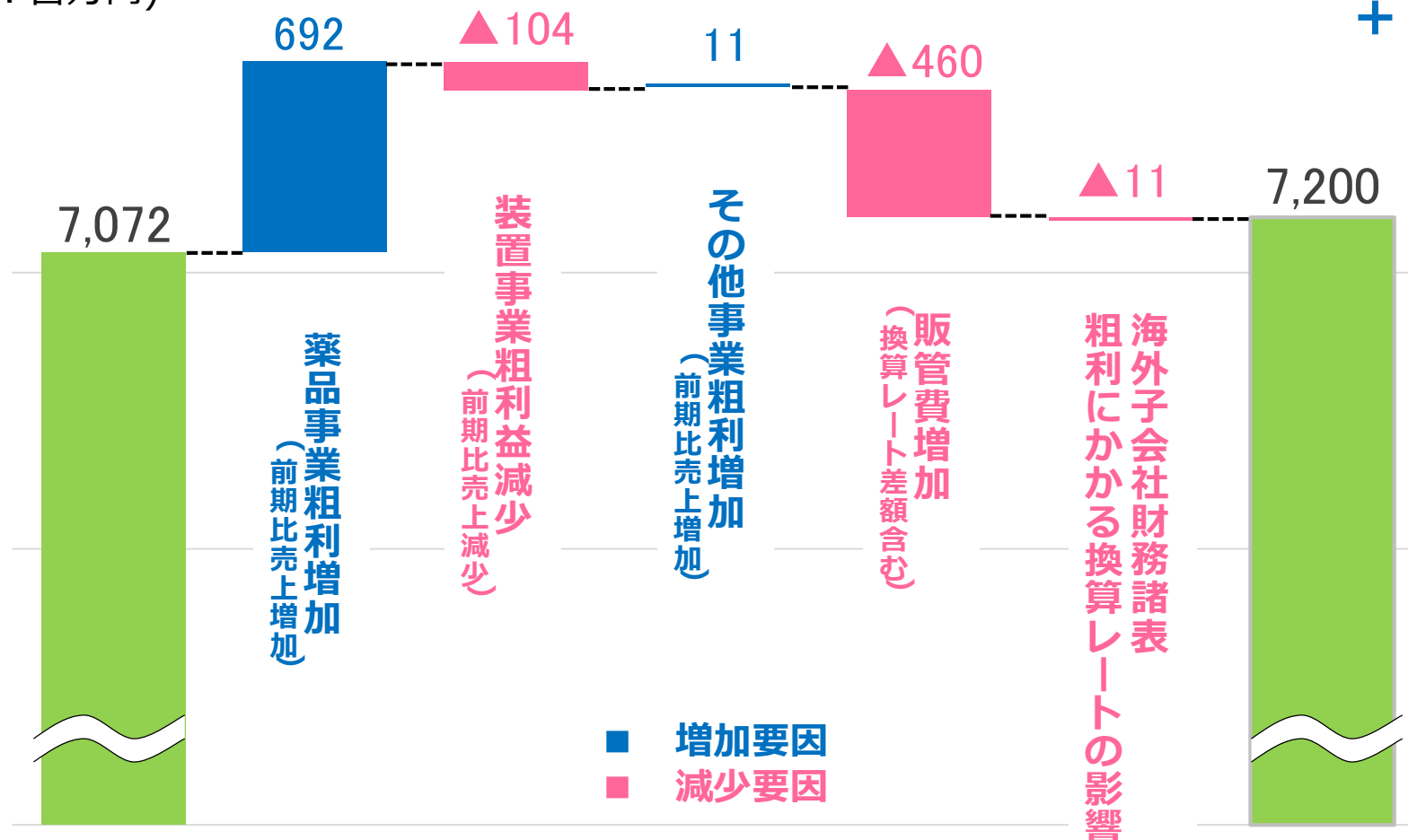


(注) セグメント変更に伴い、2018年3月期以前の旧新規事業は、便宜上、全て装置事業に合算して表示しております。

2020年3月期 連結営業利益 増減内容 (予想)

(単位：百万円)

(前年同期比)
+ 128



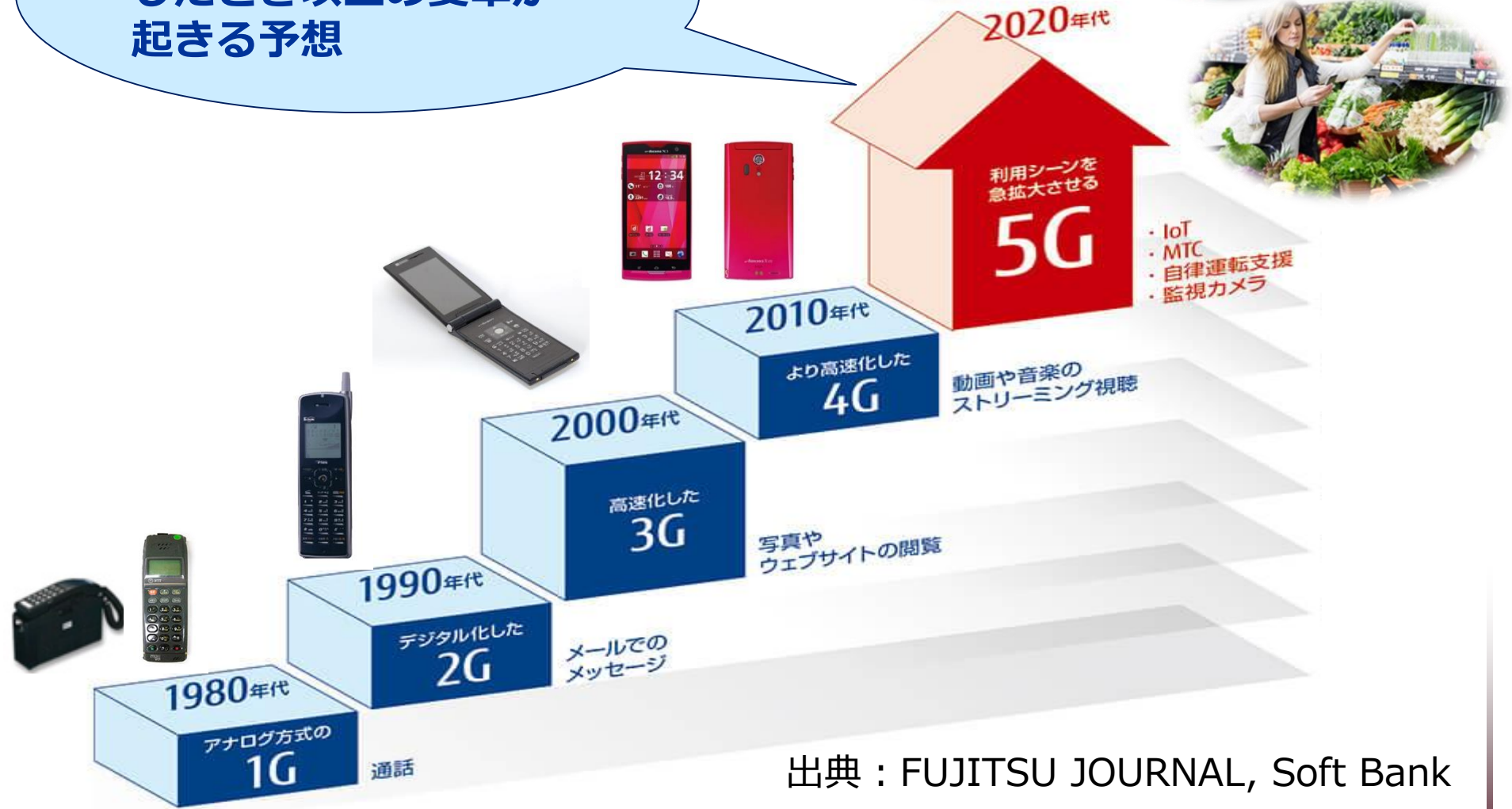
2019年3月期
営業利益

2020年3月期
営業利益
(予想)

5G(第5世代移動通信システム) に向けたJCUの提案

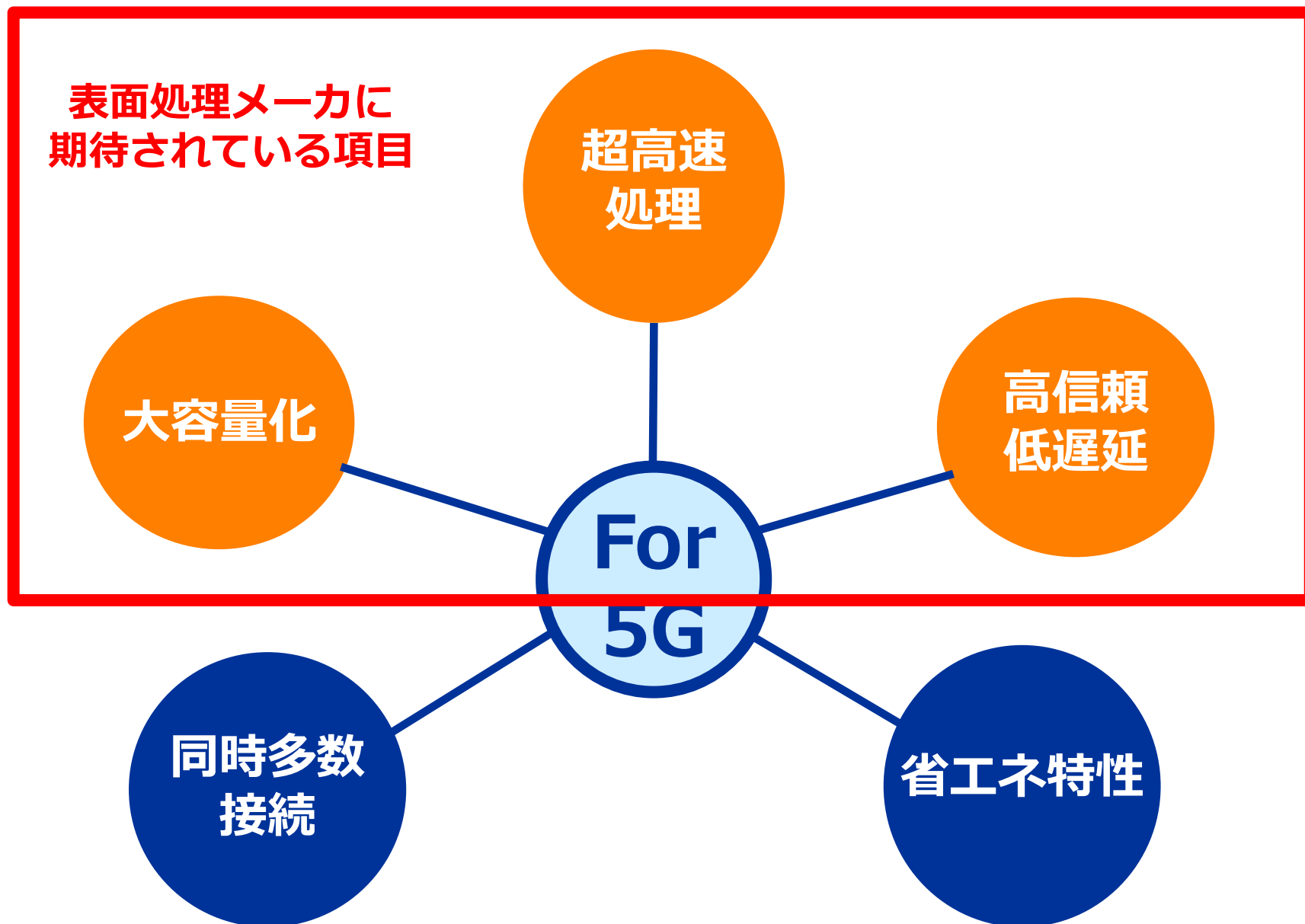
5Gまでの時代背景

インターネットが普及したとき以上の変革が起きる予想



出典：FUJITSU JOURNAL, Soft Bank

5Gを実現するために要求される性能



プリント配線板に求められること

Concept



5G対応に向けたプロセスの提案

① 大容量化 ➡ 配線の微細化



② 超高速処理 ➡ 配線の高面均性
(ノイズの発生防止)

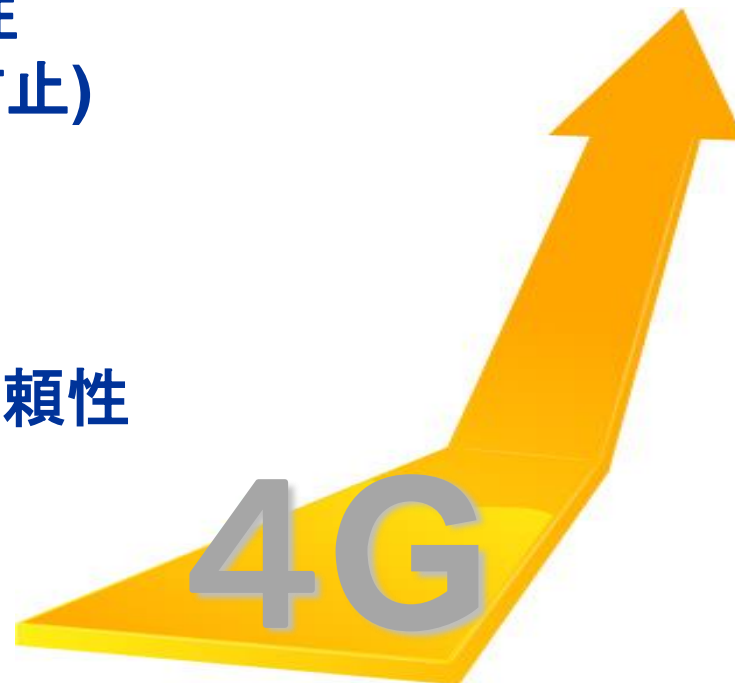


③ 高信頼低遅延 ➡ 配線の接続信頼性

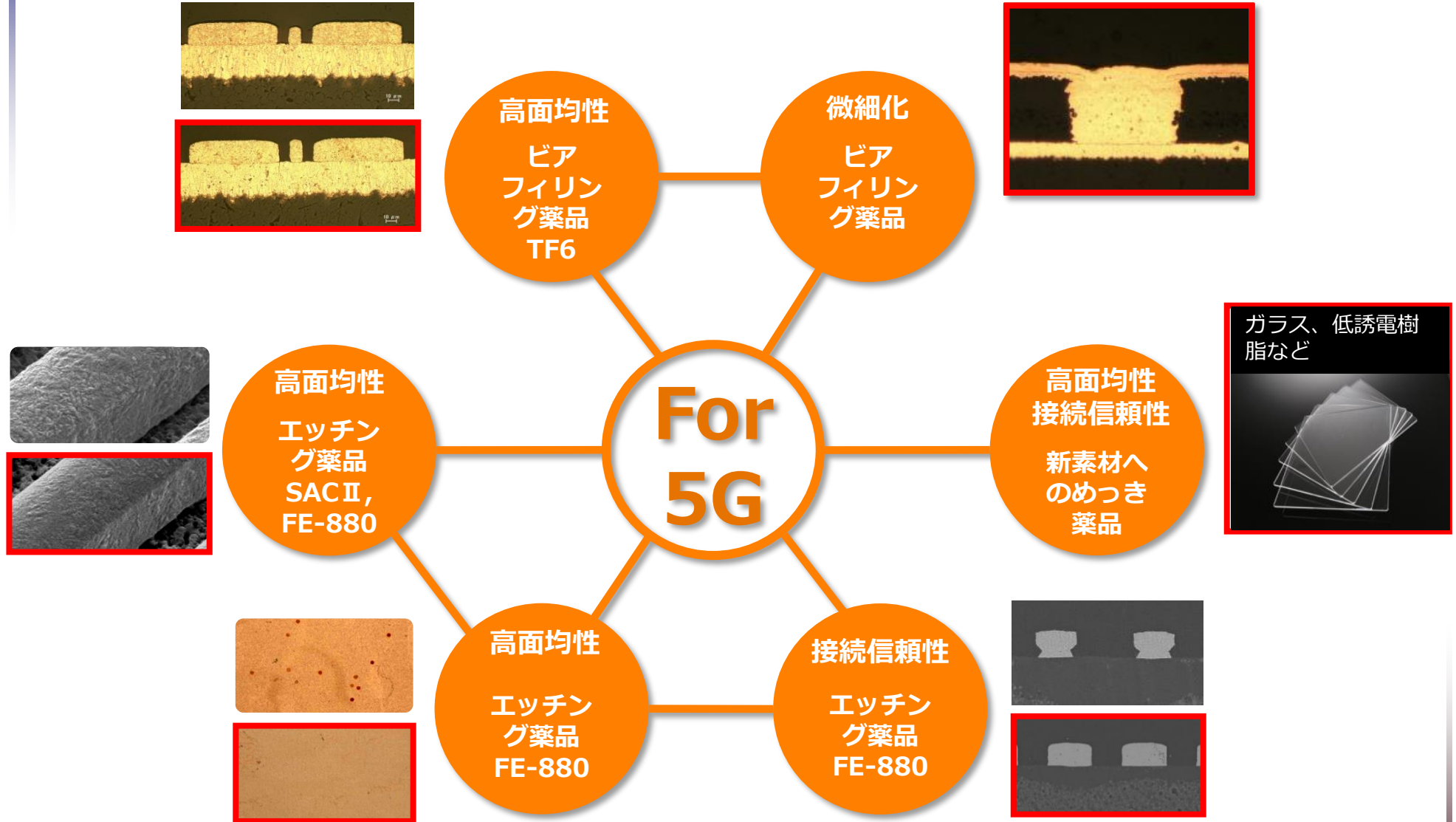


5G

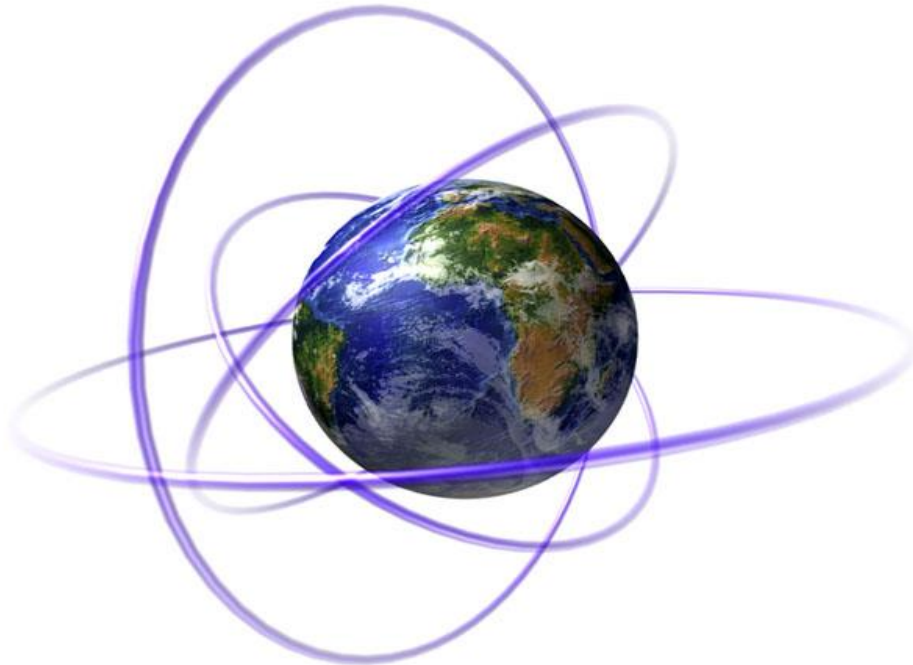
通信速度が4Gの100倍
とも言われている。



開発製品



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



当社ホームページ：
<https://www.jcu-i.com/>

お問い合わせ先：経営戦略室
TEL: 03-6895-7004